

伊達のお城下宇和島に1年振りの伊達男!

3月30日・31日



市川 亀治郎改め、昨年の6月に4代目を襲名した市川 猿之助さんを再びお招きし、3月30日・31日の2日間、南予文化会館を会場に宇和島歌舞伎が上演されました。

上演に先立ち、30日(土)には、きさいやロードにてお練りが行われました。集まった多くの観衆からは、市川 猿之助さんの屋号「澤瀉屋!」の声が上がっていました。

今回の宇和島歌舞伎は、猿之助さんのお目見え口上から始まり、来場の皆さんに歌舞伎を楽しんでもらえるよう、市文化協会顧問の木村 宗慎さんより、上演演目の見どころ紹介がありました。続いて行なわれた、猿之助さんとのトークショーでは、軽妙な



お話に会場から何度も笑い声が上がリ、リラックスして歌舞伎を楽しめる雰囲気となりました。

演目は義経千本桜より「吉野山」が上演されました。事前の紹介により役者の細かい所作にも注目して観劇でき、猿之助さんが見栄を切った時には、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。

31日(日)には、和霊神社にて奉納舞が行なわれました。

先日の激しい舞台とは一転、閑寂な和霊神社社殿を舞台に、猿之助さんが「出雲梅」を優雅に舞い、見物に訪れた多くの人達は、その舞に見とれていました。



柑橘の「赤実」を全国に ブラッドオレンジフェア2013

4月13日

会場のきさいや広場では、ブラッドオレンジの販売のみでなく、ブラッドオレンジを使用したお菓子などの加工品も販売され、辺りは柑橘の爽やかな香りに包まれていました。

オープニングセレモニーでは、ブラッドオレンジ大使として、宇和島出身のフリーアナウンサー宮川 俊二さんがゲストに招かれ、会場の皆さんに宇和島産ブラッドオレンジの素晴らしさをPRしました。

生産者、販売業者の皆さんからは、「宇和島の温暖な気候だからこそ育まれる味を全国の人に楽しんでもらおう!」という意気込みが伝わってきました。



ビジネスプランコンテストで 最優秀賞

3月8日

農林水産省により平成24年度に行なわれた、「事業創出人材育成事業」の参加者による、ビジネスプランコンテストが東京で行われました。愛媛県からはグループ名「たいあっぷ」が出場しました。

宇和島市在住の赤松さん、河野さんがグループを代表して、塩釜鯛を祝い鯛としてプライダル市場へ売り込むビジネスプランを発表し、厳しい審査の結果、見事に最優秀賞を受賞しました。

